

令和4年度岐阜県現代陶芸美術館協議会 議事要旨

■日 時：令和4年6月29日（水）午後13時30分～15時00分

■場 所：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

■出席者：

【委員】安藤（工）会長、有賀委員、安藤（貴）委員、鈴木委員、古川委員、高橋委員、田代委員、加納委員

（欠席：加藤委員、神崎委員、長谷川委員、松原委員、安藤（雅）委員、細野委員、矢沢委員）

【県】石崎館長、林副館長兼総務部長、小栗学芸部長、長瀬課長補佐兼係長、飛弾課長補佐、花井係長、岡田課長補佐、立花主査、山口主任、林主任、牧野主事
（文化伝承課 欠席）

議事1：令和3年度 事業報告について

意見なし

議事2：令和4年度 事業計画について

（有賀委員） 出前・出前授業は多治見市の学校に偏っていますが、授業実施は個々の学校の希望ですか？市の市政ですか？

（飛弾課長補佐） 出前・出前授業は県内を対象に募集しており、ご要望があればどこへでも出向いていきます。実施校については、学校の希望、方針により応募しているようです。

（安藤委員） 愛のヴィクトリアン・ジュエリー展では当時の衣装も展示され、陶芸以外の展示も楽しみです。衣装の点数はどれだけですか。過去の展覧会でも陶芸にプラスアルファした展示は魅力的で美術館へ足を運びました。

（岡田課長補佐） 愛のヴィクトリアン・ジュエリー展は企画会社が企画する巡回展のため、現時点では衣装の点数は未定です。なお、衣装を含めたジュエリー展示を展示室の一室を使い展示する予定です。

議事3：美術館の運営についての提言

- (有賀委員) 近くに大型商業施設がオープンするが、どれぐらい渋滞するのか。渋滞により美術館には来ないのではないかと危惧します。何か検討していますか。
- (石崎館長) 渋滞に関しては特に検討していませんが、大型商業施設に訪れた方が美術館にも寄っていただけるよう検討しています。
- (古川委員) 大型商業施設は、国道まで渋滞させないよう施設敷地内で渋滞対策を検討しているようです。
もっと美術館や他の施設によっていただけるよう、大型商業施設内で案内し、買い物の帰りに寄っていただくような戦略がよい。
- (安藤委員) 陶芸に特化させるだけではなく、以前より陶芸以外のものをマッチングさせることにより、年齢層や遠方からの来館等広がっている。それにより今まで陶芸に触れることのなかった方が陶芸に触れる機会となることが良いと思います。
作家の人生等を知ると作品を鑑賞する時、楽しさが倍増します。美術館として良いことなのか分かりませんが、作家の紹介（映像など）があってもよいのではないかと思います。
- (鈴木委員) 多治見市には他にもたくさん施設があり、どこへ行こうか迷ってしまいます。インパクトのある展示により、まずは美術館にきていただくことが大切だと思います。
グーグルで検索した場合、どうやって美術館へ行くのか分かりにくい。ホームページでバスの案内もあり、土日は巡回バスもあり良いが、平日は分かりにくい。このバスに乗れば美術館に確実に行くことを案内すると来館者も安心です。
出張授業が多く、子供たちにとってとても良いことです。引き続き実施していただきたい。
- (古川委員) ハンガリーと積極的に交流している。第12回国際陶磁器フェスティバルの時、ハンガリー大使館にもいったが、煌びやかで人も集まるのではないか。

是非、ハンガリーとの友好を深め、ハンガリー関連の展覧会を実施していただきたい。

3市（多治見市、瑞浪市、土岐市）の他の施設連携も重要です。

多治見市では、駅で電動自転車を貸し出しています。名古屋市等へPRし駅から自転車で美術館や他の施設へ来ていただくのも面白いアイデアではないか。

（高橋委員） 陶芸だけではなく、他の工芸を繋げることもとても魅力的です。また話題性のあるもの等も組み合わせるのもよいと思います。

若い方の来館が少ないとのことですが、SNSやインスタ等の話題となるものを利用すると若い方も来館するのではないか。

（加納委員） 美術館の組織目標に記載されている「ぶらり立ち寄る美術館」に共感しました。しかし、美術館の立地場所により校区の学生がぶらり立ち寄れない状況です。また、遠いため親に頼んでまで美術館へ行く状況でもないようです。

教育普及事業として出張授業は大変ありがたいです。地元であっても美術館にいけない学生が本物を見ることができ、触れることができます。

（田代委員） 美術館は博物館的な役割もあります。実用陶磁器も収集されていますが、たくさん収集していただきたい。民族学者が言っていたが、一つや二つ集めるだけでは駄目で、たくさん集めることにより、作り方等、様々な変遷等が分かります。

（有賀委員） 大型商業施設のお客が美術館へ流れてくるとよい。

例えば大型商業施設内にサテライトミュージアム的なものを行い、美術館の存在をアピールすると、美術館へ来ていただけるのではないか。

（石崎館長） 大型商業施設内でのサテライトミュージアムは難しいですが、美術館へ来ていただけるよう大型商業施設との連携事業は検討しています。

（安藤会長） 地元の方に来館していただくことも大切ですが、他県からたくさんの方が、美術館の素晴らしさを知っていただき、足をはこんでいただくことが大切だと思います。多治見市には修道院や美濃焼ミュージア

ム等があり、他の施設と連携を取り、一人でも多くの方に来ていただきたい。

これで議事を終了します。ありがとうございました。